

福祉通信

平成30年度 郡上市社協福祉標語

『思いやりのまち』でも だれにでも

郡上市社協では、福祉の心を育む共育（教育）として、市内中学1年生を対象に福祉標語を募集しました。応募作品356点の中から福祉標語選考委員会において5作品に絞り、「平成29年度 郡上市福祉フェスティバルin古今伝授の里やまと」の来場者に投票していただいた結果、郡南中学校 河村 大翔（じゅむら ひろし）さんの作品が最優秀賞に選ばれました。河村さんの標語は平成30年度の社協イベントや行事で使用させていただきます。

河村大翔さんへインタビュー

「みんなが笑顔で、思いやりの溢れるよつな郡上市になるといいな」という想いを込めて標語を考えました。



福祉標語

ありがとございました。郡上市社協では、この標語のような郡市になるよう福祉を推進していくます。また、入選作品を掲載した福祉標語ポスターを、小中高等学校、振興事務所などに掲示させていただいている。是非ご覧ください。

※写真表紙中

平成29年度 福祉推進校事業報告会

福祉推進校事業とは、児童生徒がボランティア活動や福祉を学ぶ機会を通して「地域の福祉に理解や関心を高めてもらつこと」を目的として、年度毎に申請があつた学校を「福祉推進校」として指定し、福祉共育（教育）を行っています。平成29年度は、市内34校すべての学校を福祉推進校に指定しました。

報告会では、指定を受けた学校の担当者が

参加し、学校独自の活動や、郡上市社協が行う福祉体験の報告、障がいを持つ方による講話、デイサービスセンターや障がい福祉サービス事業所利用者との交流について報告がありました。また、大和西小学校の三田村美明教諭からは、「6年生の福祉体験を通して、思いやりの心や福祉についての理解が深まりこれから生き方を学んだ」との活動報告がありました。その後、先生方に「高齢者疑似体験」を行っていただき、体験された先生方は「声掛けがあるだけで安心感が違つ」などの声が聞かれました。

子どもたちが地域とつながるヒビ、福祉の応援者となつていただけることを期待しています。

※写真表紙下

高齢者

行方不明高齢者等捜索のため協力協定を締結

認知症等により道がわからず行方不明になつた高齢者等を早期に発見するため、中濃圏域の市町村と各社協、警察署などが新たな協力体制をつくつました。協力協定を締結するとして「中濃地域行方不明高齢者等のOのネットワーク」をつくり、必要に応じて行方不明者情報を警察署の管轄を越えて広域で共有し、本人の安全確保と家族を含めた適切な支援につなげます。

高齢者等の行方不明者は今後増えると予想されていますが、警察署や市町村の枠を越えた情報共有により、誰もが安心して暮らせん地域を目指します。

